

- 1 喜寿を過ぎ みな ふぞろいで 冬庭木
- 2 君の頬 飯盒あたたか 落ち葉燃ゆ
- 3 ふんわりと 陽色の落ち葉 野良の背に
- 4 山麓 祠の屋根に 積む落ち葉
- 5 足裏で 踏む落葉の 音楽し
- 6 カライモを持って居ないと無念がり
- 7 着地まで何を想うか舞う落ち葉
- 8 ひらひらと落ち葉の絨毯サクサクと
- 9 落ち葉らの色様々と私の人生
- 10 落ち葉拾ふ 吾に拾ひし 母のごと
- 11 木瓜の実の てんでに向きて ひとり日和
- 12 リハビリの 難きにちにち 鴟高音
- 13 け嵐に 重なり合うは 化粧襟
- 14 秋日和 山ぞ賑わう 濡れ落ち葉
- 15 集い道 落ち葉踏みしめ 四分音符
- 16 落ち葉よせ掴みてかぶる子らの声
- 17 戯れる鯉にさまよう落ち葉かな
- 18 静けさやサクサク落ち葉踏みしめて

- 19 老木の花いや増すか銀木犀
- 20 手を合わす秋澄む朝の日の光
- 21 一瞬の錦の舞をと落ち葉蹴る
- 22 絶景を 落ち葉絨毯 踏みしめて
- 23 あかね雲 今は昔の 落ち葉焚き
- 24 濡れ落ち葉 オムツつけられ 恍惚に
- 25 熱ある子落ち葉の庭に出ると言う
- 26 フマキラー罪なき蜘蛛の骸かな
- 27 秋深し女八人ハイテンション
- 28 木の葉散る 過ぎしあの日の 躍動感
- 29 古希の日よ 川を流れる 落ち葉たち
- 30 舞う落ち葉 母の宇宙に 還るなり
- 31 一人名を記すにもなれ落葉風
- 32 時雨るるや約束三つ重なりて
- 33 小鳥来る旧字の読みを聞す朝
- 34 子ぎつねに 冠せてみたし 柿落葉
- 35 落ち葉道 赤い帽子の 見えかくれ
- 36 城落ち葉 心踊るや 城下町

- 37 微笑みて 銀杏香る 夕の膳
- 38 イチョウの木 生演奏に 輝けり
- 39 黄昏や ブランコ揺らす 落ち葉かな
- 40 久しぶり 落ち葉焚く先 馴染み顔
- 41 じゃあねと 落ち葉の如く 友が逝く
- 42 落ち葉踏む 朝の散歩で 時忘れ
- 43 見上げれば 赤い落ち葉が 風に舞う
- 44 掃きだめの 落ち葉を見つめ われ思う
- 45 落とし文優しく包む落ち葉床
- 46 朴落ち葉拾いてホールポスト置く
- 47 小春日に渋柿十連剥き挙げて
- 48 北斗星 まだ温かし 仔猫逝く
- 49 仔猫抱き 弔う庭に 舞う落ち葉
- 50 虫食い葉 カボチャのお化けに 見える頃
- 51 青いより 黄色い銀杏がいいと 逝く
- 52 いつの日か 柿の落ち葉に 手料理を
- 53 夕映えに色を重ねて柿落ち葉
- 54 月灯りカサコソカサと落ち葉鳴る

連字空白は本人のまま 以上 55句が出ました。この長谷川權選への参加者は70歳代が最も多いです。

# オンライン 第11回 俵山文化祭

熊本シニアネット  
2022年11月8日(火) PM7~

特別講演

## 「俳句的人生」 俳人 長谷川權



しんかんとわが身につつま地獄

長谷川權選 俳句募集 一人3句まで

1) 題「落ち葉」2) 自由題

11/3 締め切り 長谷川博まで

当日 選句結果発表

### 第一部講演会

今年は熊本県出身で様々な活躍をされている俳人の長谷川權さんを講師に迎えます。

毎週の朝日俳壇選者として、あるいは読売2面「四季」では毎日、目になっています。そんな有名な俳人の俳句への情熱その俳句的人生を句を紹介しながら語ります。

近著『俳句と人間』では自らのがん体験を死と隣り合わせで考察し文学に昇華。その本の帯には、「癌を宣告されたことは死をそして生について、あらためて考える絶好の時間をもたらしたのである。」と

### 第二部お楽しみ会

出し物・展示作品紹介

フォト575などの表彰式

\*オンライン URL はシニアネットのメーリングリストにてお知らせします。

展示会場は web 上です

詳細は担当の長谷川博迄

shiro@ac.mbn.or.jp

主催 KSN 保健福祉部 / 俵山サロン